

Material Garden

マ テ リ ア ル ・ ガ ー デ ン

■■■ Material Garden Grand Open! ■■■

9月25日、KREI/co-lab西麻布に「マテリアル・ガーデン」が正式オープンします。
当日は、下記の通りプレス向け説明会およびオープニングセレモニーを行います。
皆様にはぜひ取材にお越し下さいますようお願い申し上げます。

KREI/co-lab(クレイ/コーラボ)西麻布とは…

コクヨグループのクリエイティブセンターと、インディペンデント・クリエイターの集合体co-labが同居する、創造と実験のためのクリエイティブ・スタジオとして2010年5月に設立されました。地下のKREI SALONでは、創造性を喚起しコラボレーションを誘発するためのレクチャーやワークショップ、交流会などのイベントも開催され、そこに集う人々のアウトプットとインプットを結びつける現代の社交場として機能しています。

— プレス向け説明会 及び オープニングセレモニー開催概要 —

日 程	9月25日(水)
会 場	KREI/co-lab西麻布(東京都港区西麻布2-24-2 KREIビル 地下1階)
式次第	17:00 開場
	18:00-18:30 プレス向け発表
	19:00- 主催者挨拶(co-lab代表:田中 陽明)
	19:30-20:00 基調講演 (Edelkoort East株式会社/TREND UNION 代表 :家安 香氏)
	20:30-21:00 キュレーター挨拶(rolo.Concept:伊藤 聡一、紙の仕事人:小杉 博俊)
	22:00 閉場

■ 基調講演(一般公開) 日時 | 9月25日(水)19:30-20:00/場所 | KREI/co-lab西麻布/料金 | 無料

家安 香 氏

Edelkoort East株式会社/TREND UNION 代表

「グローバルが欲しがるローカルとは ~これからのものづくりによせて~」

いつでもどこでも欲しいものが手に入るグローバル社会では、ものづくりの現場においても安価で便利な工作機械が用意されており、容易にものを生み出すことが可能です。しかし“そこでしか生み出し得ないもの”への渴望は薄れることなく、ローカルの持つ特定特有の価値観に対する興味関心はますます高くなっていると言えるでしょう。

本講演では、トレンド発信やブランディングワークをてがけるトレンドユニオン日本支店代表の家安香氏に、グローバルの反対軸としてのローカルではなく、グローバルと手をつないでともに未来へ歩いていくローカルの姿をお話いただきます。

-PROFILE-

関西学院大学法学部卒。ブルガリジャパンで顧客マーケティング、株式会社フェリシモで商品企画を経て、2004年よりオランダのデザインアカデミーアイトホーヘンでデザインを学ぶ。2007年卒業後、ロンドンのstudioilseでブランディングプロジェクトに参加、同年6月よりパリのトレンドユニオン本社で勤務。2008年2月よりトレンドユニオン日本支店代表に、2010年にEdelkoort East株式会社を立ち上げ、日本企業に対してのトレンド発信やデザインコンセプト作り、ブランディングやデザインワークを行っている。

■ お申し込み ■

マテリアル・ガーデン運営事務局問合せメールアドレス(info-mg@krei-project.com)まで
氏名、ご所属、参加人数を明記の上、お申し込みください

Material Garden

プレス問い合わせ先：マテリアル・ガーデン運営事務局 担当:山崎/橋場

〒106-0031 東京都港区西麻布2-24-2 KREIビル B1F
t. 03-6427-3531 f. 03-6427-3536
mail. info-mg@krei-project.com url. http://krei-project.com

*プレス用画像の提供をご希望の方は、メールアドレスからお問い合わせください



■「マテリアル・ガーデン」とは

新しいものづくりを発見しよう。 Material Garden

「素材＋活用」の新たな視点に出会える。
ものづくりについて様々な相談ができる。

プロダクトの創造に関わる企画者、デザイナー、技術者などの方々へ。KREI / co-lab 西麻布では、独自のマテリアル・ライブラリーをつくりました。素材のサンプルを並べただけのライブラリーではありません。マテリアルの専門家たちがキュレーターとなり、「素材＋活用」の新たな視点を展示したものです。その場で手にとって体験したり活用方法を知るなかで、さらに新しいものづくりを追求したい場合は、キュレーターと気軽なプレストを行ったり、素材開発や商品開発のコンサルティング業務や、プロのための学び／交流の場の提供などを依頼できます。またco-lab 渋谷アトリエにあるデジタルファブリケーション工房「co-factory」と連携したプロトタイプ製作なども可能です。創造性を触発して新しい可能性をもたらす「マテリアル・ガーデン」。未来のものづくりへの扉はここにあります。

2013年5月10日から試験的にキックオフ展示を開始した「マテリアル・ガーデン」は、来る9月25日、展示内容を大幅に更新し、その活動を本格始動いたします。このグランド・オープンでは、壁面本棚における展示スペースを拡大し、メイン・キュレーターの小杉博俊、伊藤聡一両氏による最新プロジェクトや、新たな協力者の方々による作品をご紹介します。



5/10 キックオフ・パーティーの様相

■マテリアル・ガーデンの特長

(1) 「素材＋活用」の新たな視点に出会える展示棚を用意。

マテリアルの専門家たちがキュレーターとなり、素材と加工技術の新たな視点を展示。多様な切り口からものづくりの可能性を提案します。

(2) 「素材＋活用」に関するブレインストーミングを実施。

素材や加工技術についてさらに知識やアイデアがほしい方は、キュレーターと気軽なブレインストーミングを行えます。

(3) ものづくりのコンサルティングを依頼することが可能。

素材や加工技術の専門家たちがコンサルティング業務を担当。商品開発のプランニングから、開発チームづくりのサポート、素材加工方法・生産拠点・販路などの選定、プロトタイプ製作、プロジェクトマネジメントまでを行います。また地場産業の活性化をサポートする取り組みも行います。

(4) ものづくりに関するワークショップなどを企画提案。

ものづくりに関わるプロフェッショナルが相互に交流し学び合う場として、ワークショップやレクチャー、交流イベント、作業場見学ツアーなどを企画提案いたします。

Material Garden

プレス問い合わせ先：マテリアル・ガーデン運営事務局 担当：山崎／橋場

〒106-0031 東京都港区西麻布2-24-2 KREIビル B1F

t. 03-6427-3531 f. 03-6427-3536

mail. info-mg@krei-project.com url. <http://krei-project.com>

*プレス用画像の提供をご希望の方は、メールアドレスからお問い合わせください



自分なりの表現や手法が見つかります。 「マテリアル・ガーデン」で会いましょう。

メーカーズムーブメントが生産方法の革新だとすれば、これから必要になってくるのは、ものづくりのアイデアを発想するもとなる情報の流通革新です。現在、ものづくりについての知識や経験などは各メーカー企業内に蓄積されていますが、限られた人しかアクセスできないのが現状です。そこで私たちは、マテリアルの専門家たちがキュレーターとなり、新たな視点から素材や加工技術をオープンに発信する「マテリアル・ガーデン」をつくりました。素材に触れたり加工技術の知識を得たり、ものづくりについて交流／学ぶことで、自分なりの表現や手法を見つけることのできる場です。ものづくりには最先端のデジタル技術を使いこなすことも大切ですが、「マテリアル・ガーデン」ではそれ以上にアナログ的な感性の重要性に気付くでしょう。そこに本質的なものづくりを行うカギがあると私は考えています。

伊藤聡一 rolo. Concept

日本大学生産工学部機械工学科卒業。Academy of Art University 工業デザイン学部プロダクトデザイン科卒業。日産自動車グローバルデザイン本部、キヤノン総合デザインセンターを経て、2011年春にrolo. Conceptとして独立。専門はプロダクトを中心とした「色彩と素材」の戦略的な開発と仕立て、商品開発のコンサルティングやデザインを手がける。世界に打ち出せる日本のものづくりの再発見や応用を通して、地場産業などへのサポートを活動軸の一つに置く。最近では、21_21DesignSightで開催中のカラーハンティング展に制作協力で参画。



ものづくりの核である「素材」を再発見し、 数々のインスパイアを起こしたい。

最近、ものづくりの現場にいるデザイナーや企画者、エンジニアのなかに、「素材」に興味をもたない人が多くいることに驚きを感じています。「素材」はものづくりの核となるものです。日本のものづくり復活は、「ビッグデータ」「デザイン」などよりも、「素材」を新たな視点から見つめ直すことから始まると考えています。ローコストで安定的に大量生産を行う実績がある「素材」について、加工方法を代えたり隠れた特質を見つけることができれば、新たなものづくり手法が生まれますし、商品開発をスピードアップしたり、高付加価値の商品を生み出せます。これこそ日本独自の取り組みとして、世界中で注目を集めるでしょう。そのきっかけづくりを行うのが「マテリアル・ガーデン」です。ものづくりに関わる方に向けて、「素材」の再発見から始まる新たな提案を行い、数々のインスパイアを起こしたいと思っています。

小杉博俊 紙の仕事人・株式会社システムクリエイツ

日本大学芸術学部工業デザイン科卒業。大日本文具(現ぺんてる)、王子カミカを経て、1977年にシステムクリエイツを設立。1970年代にユニバーサル商品の提案により「毎日工業デザイン賞」を二度受賞。1995年と2000年に「全日本DM大賞郵政大臣賞」、2013年にiPhone&iPadアプリで「キッズデザイン賞」を受賞。「王子バグナナチュラル紙」、電子体温計「けんおんくん」、光ディスク傷付防止用「ソフトピース加工紙」、ケータイ画面拡大用カメラ「写ミール」、「出雲大社御選宮檜皮紙」など、約50年にわたって紙を中心とした商品開発などを多数手がける。2012年、活動拠点をco-lab 渋谷アトリエに移し、IT時代のクリエイターとして活動中。



・・・協力者・・・

山梨県工業技術センター／NPO法人CANVAS／株式会社エージーリミテッド／株式会社スタジオピーパ 小倉 ひろみ

■ マテリアル・ガーデン概要 ■

主 催		KREI/co-lab西麻布
企画・運営		伊藤聡一／小杉博俊／春蔞プロジェクト株式会社
協 力		川口貴弘／小沼一志／co-factory
協 賛		コクヨファニチャー株式会社／春蔞プロジェクト株式会社
管 理 責 任		春蔞プロジェクト株式会社
利 用 方 法		予約制 (mail : info-mg@krei-project.com)

Material Garden

プレス問い合わせ先：マテリアル・ガーデン運営事務局 担当：山崎／橋場

〒106-0031 東京都港区西麻布2-24-2 KREIビル B1F
t. 03-6427-3531 f. 03-6427-3536
mail. info-mg@krei-project.com url. http://krei-project.com

*プレス用画像の提供をご希望の方は、メールアドレスからお問い合わせください

